

山梨県議会議員

Vol.

01

2023.9

福井太一事務所

北杜市武川町宮脇 2162-1

TEL&FAX 0551-26-3755

福井太一

えがお夢 県政レポート

笑顔あふれる
ふるさとに

活動の様子



プロフィール

1976年(昭和51年)3月1日生まれ
武川村生まれ 武川村育ち
山梨県立韮崎高等学校卒業
横浜国立大学教育学部卒業

1995年 山梨県スポーツ少年団 リーダー会会長
1998年 小淵沢町立小淵沢小学校で教職に就く
2000年 上野原町立柵原小学校に勤務
2005年 長坂町立小泉小学校に勤務
2013年 北杜市立泉小学校に勤務
2021年 山教組執行委員長/連合山梨副会長
2023年 山梨県公立学校教員を退職

2023年
山梨県議会議員に初当選
土木森林環境委員,指定管理施設・
出資法人調査特別委員,やまなし子ど
もの貧困対策推進政策提言案作成委員
山梨県立韮崎高等学校PTA副会長



4月9日の山梨県議会議員選挙北杜市選挙区において、11,294票というたいへん大きなお力添えをいただき当選を果たすことができました。誰もが笑顔で夢を語り、その夢を実現できるような社会・政治を目指し、新会派「えがお夢」を立ち上げました。

皆様からの期待に応えるべく、日々邁進してまいります。子どもたちのため、若者のため、働く人たちのため、高齢者のために精一杯頑張ります。これからも福井太一とともに歩んでください。よろしく申し上げます。



自然共生推進課よりニホンザルの管理捕獲等の現状について説明を受けました。北杜市でも農作物の被害をはじめ、通学路での子どもたちへの威嚇等、住民の心配事に…。市に対して対策強化を要請しております。同時に、農業振興、担い手育成、遊休農地解消、ブランド化についてもとりこんでいきます。



各地区の方々と語り合い、地域の課題を共有させていただきました。皆さんの声に丁寧に耳を傾け、解決に向けていっしょにとりこんでまいります。



国道141号須玉北橋付近。右へ大きくカーブしたその先には信号があります。地域住民より「突然信号が現れ急ブレーキ踏むことも…」とお声をいただき現地調査。県土整備部ならびに北杜警察署へ「信号注意」の路面表示を要請。即対応していただきました。



29日と言えば「ふく」福の日。毎月29日は北杜市内の街頭に立たせていただいております。初心を忘れず精進してまいります。



私の周りには、活動的な輝く女性がたくさんいます。女性リーダー、政治家…、誰もが活躍できる社会をめざしてすすんでいきます！ 誰にでも出番と居場所のある安心な社会の実現を！



消火栓、防火水槽の点検と周囲からも目立つよう環境整備を行いました。消防団員の一人としても、住民の生命、財産を守るために防災意識の高揚に努め、持続可能な消防団活動についてもとりこんでいきます。



古賀ちかげ参議院議員。文教科学委員として学校現場の実情を訴えていただいております。公務員の定年が延長されたことにもなう課題を共有。養護教諭等の少数職種の方々も誇りとやりがいをもって働き続けられるよう陳情書を提出しました。

一般質問



えがお夢 みなさまの声 県政にとどけます！



当日の様子がご覧いただけます。

6月28日山梨県議会6月定例会にて一般質問をさせていただきました。当日は100人を超える支援者の方々が応援に駆けつけてくださいました。たいへん心強かったです。感謝申し上げます。質問したことで満足せず、答弁されたことがきちんと実現されるかしっかりチェックして参ります。

保育環境の充実について

問 福井：昨年、国の調査によると、本県では、16件の「不適切な保育」が確認された。これは、保育士が多忙で余裕がないことが一因であると考えられる。保育士の配置や負担軽減、処遇改善のためにどのように取り組むか。

答 知事：4・5歳児保育を県内全ての保育所などで園児25名に対して保育士1名の配置を実現して参ります。オムツを園で廃棄するための保管設備の設置を支援し、負担軽減を図り、保育士が一人ひとりの子どもに寄り添い、無理なく保育が行える体制づくりを支援して参ります。

男女共同参画先進県に向けた意識改革について

問 福井：第5次山梨県男女共同参画計画の基本目標に「性別による無意識の偏見・思い込みを解消し、あらゆる世代や立場の人々に対して、男女共同参画に関する認識や理解が深まるよう、意識改革の取り組みを推進する」とある。若年層や働く世代への意識改革が特に重要と考えるが、どのように取り組むか。

答 知事：女性活躍に向けた意識啓発に関する企業向けのワークショップ事業を立ち上げ、女性の活躍への意識向上、男女にかかわらず子育てや介護に直面した働き手を支え合える組織風土への改革を促進します。

地域におけるスポーツの振興について

問 福井：新型コロナ禍を契機に減少した県民の運動・スポーツ習慣を回復し、県民の健康増進につなげていくために、どのように取り組むか。

答 観光文化・スポーツ部長：県が管理する主要な公園に、気軽に運動を楽しめる健康器具を設置することとしました。また、市町村が保有する公園への健康器具設置を助成し、県民の皆様へ運動習慣の重要性や健康器具の活用を周知して参ります。これらの取り組みを、「ちよいとレプロジェクト」と称して、全県下における身近な公園での健康づくりを推進して参ります。



教職員の働き方改革と人材確保について

問 福井：定数改善、現場の努力によらない行政主導による業務削減、あまりに多くの授業時数を設定している学校への指導、助言が必要。教職員のなり手不足も大きな課題である。県の取り組みは。

答 教育長：教育課程の編成・実施に当たっては、働き方改革にも配慮した対応を検討することが重要であることを、市町村教育委員会を通じて学校に周知して参ります。教員の人材確保については、教員選考検査の改善や離職再採用制度の導入、SNSによる教員の魅力発信など、様々な取り組みを行っており、今後も学校の働き方改革、教員の人材確保について積極的に取り組んで参ります。

再 福井：働き方改革、人材確保、少人数教育の推進は、セットで行うことによって相乗効果が得られる。このことについて、ご所見を伺いたい。

答 教育長：教員の人材確保につきましては、教員が働きやすい環境を作ることが大切であり、そのためにも、教員の人材確保と働き方改革をセットで取り組むことは重要であると考えております。少人数教育につきましても、一人ひとりの子どもに目の届く教育の実現とともに、先生方の働き方改革にも資するものであり、これらも併せて取り組むことも重要だと認識しております。

県立学校及び公立小中学校における専門職の短時間勤務について

問 福井：本県では学校事務職員、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員のいわゆる「専門職」には、短時間勤務の採用枠がなく選択できない。制度構築に、どのように取り組むか。

答 教育長：学校現場への専門職の配置数を増やし、短時間勤務職員を採用できるよう、国に対して教職員定数の追加を他県とも連携して要望して参ります。加えて、短時間勤務を希望する専門職の方が働ける場について、学校現場の実情も考慮しながら、具体的な対応を検討して参ります。

県道日野春停車場線の整備について

問 福井：薬師堂橋東詰交差点から中央道高架下までの間は未整備で、朝夕には慢性的な渋滞が発生している。バイパスの早期完成を強く望むが現在の整備状況と今後の取り組みは。

答 県土整備部長：この区間は、地形的な制約により現道の改良が困難であることから、バイパスとして整備を進めることとし、地元関係者とルートなどについて協議を行ってきました。昨年度、地元合意が得られたことから用地調査の実施、取得を進め早期の工事着手を目指して参ります。



少人数教育の推進について

問 福井：全国初となる25人学級は、来年度には小学校4年生まで拡大する。今後の少人数教育のさらなる推進は。

答 知事：小学校5年生以降の少人数教育については、児童の学力の観点や、自己肯定感といった非認知能力の観点に加え、教員の働き方改革の側面からも効果検証を進めて参ります。また、中学校への学びのつながりを見据え、学校関係者をはじめとする教育関係者の専門的な見地からの意見を伺いながら検討いたします。

学校現場における女性管理職の登用について

問 福井：アンコンシャス・バイアスは、環境や経験を通してつくられる。現状では「管理職は男性」という偏った意識がすり込まれる。改善に向けどう取り組むか。

答 知事：令和6年度までに女性管理職の割合を小中学校が15パーセント、県立学校が20パーセントとする目標の達成はもちろんのこと、モチベーションを向上させるリーダー研修を実施しながら、今後の目標値を男女の在籍比率と同水準とするなど、更に高くしていくことを教育委員会に求めて参ります。



地域防災力の充実にに向けた消防団員の確保について

問 福井：私は現役消防団員として、団員の気持ちに寄り添いながら、議員活動を行いたい。近年、激甚化・頻発化する災害に対応するには、地域防災力の中核的な役割を担う消防団の活性化が重要である。消防団員の確保に、どのように取り組むか。

答 防災局長：消防団への加入促進を図るため、PR動画を作成し、県ホームページに掲載するほか、各種イベントを通じて、地域で活躍する消防団のやりがいや魅力を発信して参ります。消防団員を安定的に確保するために、消防団活動に協力的な事業所を認定する制度や、飲食店などが団員に料金割引といった優遇措置を行う事業の実施・拡充に取り組んでいるところです。

日常的な活動は SNS で常時発信しています。
県政への率直なご意見お聞かせください!!

